2020年９月期　第１四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2020年２月14日

上場会社名　ナレッジスイート株式会社　上場取引所　東
コード番号　3999　ＵＲＬ　https://ksj.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）稲葉　雄一
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役執行役員コーポレートビジネスユニット長　（氏名）柳沢　貴志　ＴＥＬ　03-5405-8120
四半期報告書提出予定日　2020年２月14日　配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2020年９月期第１四半期の連結業績（2019年10月１日～2019年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年９月期第１四半期	543	0.0	70	119.8	68	136.8	78	556.9	78	556.9	84	608.9
2019年９月期第１四半期	543	―	32	―	28	―	11	―	11	―	11	―

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年９月期第１四半期	15.60	15.35
2019年９月期第１四半期	2.42	2.34

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年９月期第１四半期	2,304	1,069	1,069	46.4
2019年９月期	2,338	980	980	41.9

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2020年９月期	―				
2020年９月期（予想）		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2020年９月期の連結業績予想（2019年10月１日～2020年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,311	―	19	―	12	―	27	―	27	―	5.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
（注）2020年９月期の連結業績予想につきましては、当社が2020年９月期より国際財務報告基準（以下、「ＩＦＲＳ」という。）を任意適用したため、日本基準を適用していた2019年９月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年９月期１Ｑ	5,048,000株	2019年９月期	5,036,000株
②　期末自己株式数	2020年９月期１Ｑ	143株	2019年９月期	143株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2020年９月期１Ｑ	5,041,987株	2019年９月期１Ｑ	4,957,016株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述用についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（ＩＦＲＳの適用）

当社は、2020年９月期第１四半期連結累計期間から国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）を適用しております。また、前年同四半期及び前連結会計年度の連結財務諸表につきましても、ＩＦＲＳに準拠して表示しております。連結財務数値に係るＩＦＲＳと日本基準との差異につきましては、Ｐ.13「２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（初度適用）」をご参照ください。

（四半期決算補捉説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2020年２月14日（木）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 4
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 8
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（セグメント情報） …… 10
（重要な後発事象） …… 12
（初度適用） …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループは当第１四半期連結会計期間から、従来の日本基準に替えて国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を適用しており、前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値もIFRSに組み替えて比較分析を行っております。

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、米国発の貿易摩擦の長期化、中国をはじめとしたアジア諸国の経済動向、消費税率引上げ後の実体経済への影響等により、依然として先行き不透明な状態は継続しております。

当社グループのクラウドソリューション事業及びシステムエンジニアリング事業を展開する情報サービス市場は、働き方改革関連法案の施行に伴う「働き方改革」、及び「デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）」への機運の高まりから、企業の情報システム需要、ＩＴ人材不足による先端ＩＴ人材ニーズの広がりに加え、中堅・中小企業における生産性向上とサブスクリプションからなるクラウドサービス需要が引き続き拡大しております。

このような状況下で、当社グループは「Change The Business～中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献する～」を経営理念に、「脳力をフル活用できる世界へ」を企業ビジョンに掲げ、働き方改革に必要不可欠である、デジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みを強化するべく、成長加速に向けた投資の更なる強化を推進してまいりました。

具体的には、働き方改革を推進するＳＦＡ／ＣＲＭクラウドサービス「Knowledge Suite（ナレッジスイート）」を中心としたサブスクリプションビジネスの拡大のため、将来の売上拡大を優先した営業採用の他、プロモーション強化、さらには次世代のクラウドプラットフォーム開発をスタートいたしました。

さらに、導入コンサルティング、ＩＴ人材サービスの提供を通じて、中堅・中小企業のデジタルトランスフォーメーションを提案してまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は543,350千円（前年同期比0.0％増）、営業利益は70,415千円（前年同期比119.8％増）、税引前四半期利益は68,515千円（前年同期比136.8％増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は78,661千円（前年同期比556.9％増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①クラウドソリューション事業

（クラウドサービス）

当サービスにつきましては、引き続き全国に広げた販売パートナーによる拡販、及び積極的な展示会及びセミナーによるプロモーション施策を実施したことにより、月平均2,000件以上のリード（見込み客）獲得を維持しつつ、安定的なサブスクリプション契約の受注が推移したことから、当第１四半期連結累計期間における売上収益は157,376千円（前年同期比7.8％増）となりました。

（ソリューションサービス）

当サービスにつきましては、クラウドサービスの契約増が起因し、導入コンサルティングの受注が堅調に推移したものの、ＷＥＢマーケティング支援において、市況の変更により前年同期と比べ大幅な受注減となったため、当第１四半期連結累計期間における売上収益は43,486千円（前年同期比39.0％減）となりました。

これらの結果、売上収益は200,863千円（前年同期比7.6％減）、セグメント利益は61,524千円（前年同期比25.1％減）となりました。

②システムエンジニアリング事業

システムエンジニアリング事業においては、引き続き慢性的なＩＴ人材不足を背景に、安定的な稼働人員を維持できたため、売上収益は計画どおり推移いたしました。

これらの結果、売上収益は342,487千円（前年同期比5.1％増）、セグメント利益は72,853千円（前年同期比46.4%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の流動資産は1,279,925千円となり、前連結会計年度末に比べ37,652千円減少しました。これは主に、現金及び現金同等物の減少14,201千円、営業債権及びその他の債権の減少30,443千円によるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の非流動資産は1,024,373千円となり、前連結会計年度末に比べ3,186千円増加しました。これは主に、無形資産の増加16,858千円、使用権資産の減少14,181千円によるものであります。

これらの結果、当第１四半期連結会計期間末の資産合計は2,304,298千円となり、前連結会計年度末に比べ34,465千円減少しました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の流動負債は462,730千円となり、前連結会計年度末に比べ64,338千円減少しました。これは主に、営業債務及びその他の債務の減少57,488千円によるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の非流動負債は772,567千円となり、前連結会計年度末に比べ58,914千円減少しました。これは主に、有利子負債の減少46,648千円,リース負債の減少14,323千円によるものであります。

これらの結果、当第１四半期連結会計期間末の負債合計は1,235,298千円となり、前連結会計年度末に比べ123,253千円減少しました。

（資本）

当第１四半期連結会計期間末の資本は1,069,000千円となり、前連結会計年度末に比べ88,787千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加78,661千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ4.5ポイント増加し、46.4％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年９月期通期の連結業績予想につきましては、2020年２月14日に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能は情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：千円）

	移行日 （2018年10月１日）	前連結会計年度 （2019年９月30日）	当第１四半期 連結会計期間 （2019年12月31日）
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	935,707	993,599	979,398
営業債権及びその他の債権	139,067	292,666	262,222
棚卸資産	610	408	3,154
未収法人所得税等	－	－	12,355
その他の金融資産	4,782	－	－
その他の流動資産	33,301	30,903	22,794
流動資産合計	1,113,469	1,317,577	1,279,925
非流動資産			
有形固定資産	47,063	50,212	49,941
使用権資産	275,719	219,808	205,627
のれん	129,019	328,206	328,206
無形資産	129,414	231,314	248,173
その他の金融資産	58,052	184,612	185,392
繰延税金資産	29,290	7,032	7,032
非流動資産合計	668,559	1,021,186	1,024,373
資産合計	1,782,029	2,338,764	2,304,298

（単位：千円）

	移行日 （2018年10月１日）	前連結会計年度 （2019年９月30日）	当第１四半期 連結会計期間 （2019年12月31日）
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	42,026	162,670	105,181
契約負債	15,997	12,508	12,030
有利子負債	68,200	186,592	186,592
リース負債	57,152	56,998	57,116
未払法人所得税等	1,260	1,721	－
その他の流動負債	61,142	106,579	101,809
流動負債合計	245,779	527,069	462,730
非流動負債			
有利子負債	431,250	637,666	591,018
リース負債	204,291	148,679	134,355
引当金	23,456	23,498	23,509
繰延税金負債	－	21,637	3,368
その他の非流動負債	283	－	20,316
非流動負債合計	659,281	831,482	772,567
負債合計	905,061	1,358,551	1,235,298
資本			
資本金	650,944	664,174	666,124
資本剰余金	639,328	652,558	654,508
利益剰余金	△413,218	△335,888	△257,226
自己株式	△85	△192	△192
その他の資本の構成要素	－	△438	5,787
親会社の所有者に帰属する持分合計	876,967	980,213	1,069,000
資本合計	876,967	980,213	1,069,000
負債及び資本合計	1,782,029	2,338,764	2,304,298

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2018年10月１日 至　2018年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2019年10月１日 至　2019年12月31日）
売上収益	543,169	543,350
売上原価	342,324	333,566
売上総利益	200,845	209,784
販売費及び一般管理費	173,043	189,922
その他の収益	5,577	50,585
その他の費用	1,336	31
営業利益	32,041	70,415
金融収益	217	－
金融費用	3,320	1,900
税引前四半期利益	28,937	68,515
法人所得税費用	16,963	△10,145
四半期利益	11,974	78,661
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	11,974	78,661
四半期利益	11,974	78,661
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	2.42	15.60
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	2.34	15.35

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2018年10月１日 至　2018年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2019年10月１日 至　2019年12月31日）
四半期利益	11,974	78,661
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品	－	6,225
その他の包括利益合計	－	6,225
四半期包括利益	11,974	84,887
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,974	84,887
四半期包括利益	11,974	84,887

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第１四半期連結累計期間（自　2018年10月１日　至　2018年12月31日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計	
2018年10月１日残高	650,944	639,328	△413,218	△85	－	876,967	876,967
四半期利益	－	－	11,974	－	－	11,974	11,974
その他の包括利益	－	－	－	－	－	－	－
四半期包括利益合計	－	－	11,974	－	－	11,974	11,974
新株の発行	1,410	1,410	－	－	－	2,820	2,820
自己株式の取得	－	－	－	△69	－	△69	△69
所有者との取引額等合計	1,410	1,410	－	△69	－	2,750	2,750
2018年12月31日残高	652,354	640,738	△401,244	△155	－	891,692	891,692

当第１四半期連結累計期間（自　2019年10月１日　至　2019年12月31日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計	
2019年10月１日残高	664,174	652,558	△335,888	△192	△438	980,213	980,213
四半期利益	－	－	78,661	－	－	78,661	78,661
その他の包括利益	－	－	－	－	6,225	6,225	6,225
四半期包括利益合計	－	－	78,661	－	6,225	84,887	84,887
新株の発行	1,950	1,950	－	－	－	3,900	3,900
自己株式の取得	－	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	1,950	1,950	－	－	－	3,900	3,900
2019年12月31日残高	666,124	654,508	△257,226	△192	5,787	1,069,000	1,069,000

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2018年10月１日 至　2018年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2019年10月１日 至　2019年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	28,937	68,515
減価償却費及び償却費	29,196	28,891
金融収益	△217	－
金融費用	3,320	1,900
投資有価証券売却益	－	△42,000
棚卸資産の増減額（△は増加）	△763	△2,746
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	7,427	30,443
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△20,490	△47,635
契約負債の増減額（△は減少）	△1,243	△478
引当金の増減額（△は減少）	△1,060	－
その他	18,556	△4,354
小計	63,663	32,536
利息の受取額	217	－
利息の支払額	△2,810	△3,074
法人所得税の支払額	△1,236	△5,413
役員退職慰労金の支払額	△130,000	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70,166	24,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△784	△1,713
無形資産の取得による支出	△17,060	△29,584
投資有価証券の取得による支出	－	△10,000
投資有価証券の売却による収入	－	60,000
保険積立金の解約による収入	230,458	－
子会社の取得による支出	△160,505	－
その他	8,274	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,381	18,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	－
長期借入金の返済による支出	△217,401	△46,648
リース負債の返済による支出	△16,375	△14,205
株式の発行による収入	2,820	3,900
自己株式の取得による支出	△69	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	268,974	△56,953
現金及び現金同等物の増減額	259,189	△14,201
現金及び現金同等物の期首残高	935,707	993,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,194,897	979,398

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「クラウドソリューション事業」及び「システムエンジニアリング事業」の２つを報告セグメントとしております。

「クラウドソリューション事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援クラウドサービスの開発・販売、また、中堅・中小企業の営業・マーケティング課題を解決支援する導入コンサルティング、クラウドインテグレーション、ＷＥＢマーケティング支援からなるソリューションサービスの２つのサービスを軸に事業を展開しております。

「システムエンジニアリング事業」は、当社が長年培ってきたクラウドインテグレーションノウハウをベースにした先端ＩＴ技術者の育成、及び市場ニーズに即した先端技術力、研究開発体制を共有していくことで、今まで以上にニーズの高いシステムエンジニアリングサービスを展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの会計方針は、「３．重要な会計方針」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第１四半期連結累計期間（自　2018年10月１日　至　2018年12月31日）

（単位：千円）

	クラウドソリューション事業	システムエンジニアリング事業	合計	調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	217,277	325,891	543,169	－	543,169
セグメント間の売上収益	285	－	285	△285	－
合計	217,562	325,891	543,454	△285	543,169
セグメント利益	82,184	49,773	131,957	△99,916	32,041
金融収益	－	－	－	－	217
金融費用	－	－	－	－	3,320
税引前四半期利益	－	－	－	－	28,937

当第１四半期連結累計期間（自　2019年10月１日　至　2019年12月31日）

（単位：千円）

	クラウドソリューション事業	システムエンジニアリング事業	合計	調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	200,863	342,487	543,350	－	543,350
セグメント間の売上収益	982	－	982	△982	－
合計	201,846	342,487	544,333	△982	543,350
セグメント利益	61,524	72,853	134,378	△63,962	70,415
金融収益	－	－	－	－	－
金融費用	－	－	－	－	1,900
税引前四半期利益	－	－	－	－	68,515

（注）１．セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

２．セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

（重要な後発事象）

（譲渡制限付株式報酬としての新株式発行）

当社の取締役及び執行役員に対し、当社の企業価値の継続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、下記の譲渡制限付株式報酬制度を導入することを2020年１月17日開催の取締役会において、決議しました。

(1) 当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式

（ⅰ）	払込期日	2020年２月14日
（ⅱ）	発行する株式の種類及び数	当社普通株式 30,000 株
（ⅲ）	発行価額	1株につき 813 円
（ⅳ）	発行総額	24,390,000 円
（ⅴ）	株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。） 5 名 30,000 株
（ⅵ）	その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

(2) 当社の執行役員に対する譲渡制限付株式

（ⅰ）	払込期日	2020年２月14日
（ⅱ）	発行する株式の種類及び数	当社普通株式 1,200 株
（ⅲ）	発行価額	1株につき 813 円
（ⅳ）	発行総額	975,600 円
（ⅴ）	株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	当社の執行役員 2 名 1,200 株
（ⅵ）	その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

（初度適用）

当社グループは、当第１四半期連結会計期間からIFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表を開示しております。我が国において一般に公正妥当と認められる会計基準（以下、日本基準）に準拠して作成された直近の連結財務諸表は2019年９月30日に終了する連結会計年度に関するものであり、IFRS移行日は2018年10月１日です。

IFRSに準拠した連結財務諸表の作成にあたり採用した会計方針は、「３．重要な会計方針」に記載しており、当第１四半期連結累計期間（自　2019年10月１日　至　2019年12月31日）及び前第１四半期連結累計期間（自　2018年10月１日　至　2018年12月31日）の要約四半期連結財務諸表、前連結会計年度（自　2018年10月１日　至　2019年９月30日）の連結財務諸表及び移行日（2018年10月１日）の連結財政状態計算書を作成する上で適用しております。

(1) 遡及適用に対する免除規定

IFRS第１号は、IFRSを初めて適用する企業に対して、原則として遡及的にIFRSを適用することを求めています。ただし、一部について例外を認めており、当社グループが採用した免除規定は次のとおりです。

①　企業結合

当社グループは、移行日より前に行われた企業結合に対してIFRS第３号「企業結合」を遡及適用しないことを選択しております。この結果、移行日より前に行われた企業結合は、日本基準により会計処理しており、修正再表示しておりません。

②　リース

契約にリースが含まれているか否かを移行日時点で存在する事象及び状況に基づき判定しております。

また、移行日前にファイナンス・リースに分類していた資産を除き、リース負債を移行日時点で測定し、同額を使用権資産として計上しております。原資産が少額もしくは短期リースに該当する場合の認識の免除について、移行日時点の状況で判断しております。

③　移行日前に認識した金融商品の指定

当社グループは、IFRS第９号における金融商品の分類について、移行日時点で存在する事実及び状況に基づいて判断しております。

④　株式報酬

当社グループは、移行日より前に権利確定した株式報酬に対しては、IFRS第２号を「株式に基づく報酬」遡及適用しないことを選択しております。

(2) 強制的な例外規定

IFRS第１号は、「見積り」、「金融資産及び金融負債の認識の中止」等について、IFRSの遡及適用を禁止しております。当社グループは、これらの項目について移行日より将来に向かって適用しております。

(3) 調整表

日本基準からIFRSへの移行が、当社グループの連結財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響は、次のとおりです。なお、調整表の「表示組替」には利益剰余金及び包括利益に影響を及ぼさない項目を、「認識及び測定の差異」には利益剰余金及び包括利益に影響を及ぼす項目を含めて表示しております。

① 移行日（2018年10月１日）の資本に対する調整

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	935,707	－	－	935,707		現金及び現金同等物
売掛金	139,655	△588	－	139,067		営業債権及びその他の債権
仕掛品	610	－	－	610		棚卸資産
前払費用	25,922	△25,922	－	－		
その他	16,180	△16,180	－	－		
貸倒引当金	△588	588	－	－		
	－	4,782	－	4,782		その他の金融資産
	－	37,320	△4,019	33,301	b	その他の流動資産
流動資産合計	1,117,488	－	△4,019	1,113,469		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	104,105	△38,249	△18,792	47,063	b	有形固定資産
	－	38,249	237,470	275,719	b	使用権資産
	－	238,996	△109,977	129,019	a	のれん
無形固定資産	353,383	△238,996	15,028	129,414	f	無形資産
投資その他の資産	96,792	△23,712	△15,028	58,052	f	その他の金融資産
	－	23,712	5,578	29,290	g	繰延税金資産
固定資産合計	554,281	－	114,278	668,559		非流動資産合計
資産合計	1,671,770	－	110,259	1,782,029		資産合計

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
						負債及び資本
負債の部						負債
流動負債						流動負債
買掛金	17,008	25,018	－	42,026		営業債務及びその他の債務
	－	15,997	－	15,997		契約負債
１年以内返済予定の長期借入金	68,200	－	－	68,200		有利子負債
リース債務	8,264	－	48,888	57,152	b	リース負債
未払金	25,018	△25,018	－	－		
未払費用	13,794	△13,794	－	－		
未払法人税等	9,375	－	△8,115	1,260	g	未払法人所得税等
前受金	15,997	△15,997	－	－		
賞与引当金	19,165	△19,165	－	－		
その他	10,874	△10,874	－	－		
	－	43,834	17,307	61,142	b, c, g	その他の流動負債
流動負債合計	187,699	－	58,080	245,779		流動負債合計
固定負債						非流動負債
長期借入金	431,250	－	－	431,250		有利子負債
リース債務	33,909	－	170,382	204,291	b	リース負債
資産除去債務	23,456	－	－	23,456		引当金
その他	283	－	－	283		その他の非流動負債
固定負債合計	488,899	－	170,382	659,281		非流動負債合計
負債合計	676,598	－	228,462	905,061		負債合計
純資産の部						資本
資本金	650,944	－	－	650,944		資本金
資本剰余金	641,044	－	△1,715	639,328	e	資本剰余金
利益剰余金	△296,731	－	△116,487	△413,218	a, b, c, e, g	利益剰余金
自己株式	△85	－	－	△85		自己株式
	995,171	－	△118,203	876,967		親会社の所有者に帰属する持分合計
純資産合計	995,171	－	△118,203	876,967		資本合計
負債純資産合計	1,671,770	－	110,259	1,782,029		負債及び資本合計

② 前第１四半期連結会計期間（2018年12月31日）の資本に対する調整

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	1,194,897	－	－	1,194,897		現金及び現金同等物
売掛金	270,929	11,499	－	282,428		営業債権及びその他の債権
仕掛品	9,374	－	－	9,374		棚卸資産
前渡金	650	△650	－	－		
前払費用	27,582	△27,582	－	－		
その他	20,371	△20,371	－	－		
貸倒引当金	△7,547	7,547	－	－		
	－	29,557	△4,026	25,531	b	その他の流動資産
流動資産合計	1,516,257	－	△4,026	1,512,231		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	106,364	△60,799	4,243	49,808	b	有形固定資産
	－	60,799	206,924	267,724	b	使用権資産
	－	415,401	△87,195	328,206	a	のれん
無形固定資産	605,509	△415,401	15,028	205,135	f	無形資産
投資その他の資産	111,621	△24,997	△52,600	34,024	f	その他の金融資産
	－	24,997	43,490	68,487	g	繰延税金資産
固定資産合計	823,495	－	129,890	953,385		非流動資産合計
資産合計	2,339,753	－	125,863	2,465,617		資産合計

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
						負債及び資本
負債の部						負債
流動負債						流動負債
買掛金	116,987	47,516	－	164,504		営業債務及びその他の債務
	－	15,689	－	15,689		契約負債
１年以内返済予定の長期借入金	180,892	－	－	180,892		有利子負債
リース債務	10,923	－	50,012	60,936	b	リース負債
未払金	47,516	△47,516	－	－		
未払費用	21,045	△21,045	－	－		
未払法人税等	23,547	－	△3,586	19,960	g	未払法人所得税等
前受金	15,689	△15,689	－	－		
賞与引当金	12,424	△12,424	－	－		
受注損失引当金	2,596	4,924	－	7,521		引当金
資産除去債務	4,924	△4,924	－	－		
その他	35,212	33,469	23,179	91,861	b, c, g	その他の流動負債
流動負債合計	471,759	－	69,605	541,365		流動負債合計
固定負債						非流動負債
長期借入金	783,310	－	－	783,310		有利子負債
リース債務	33,546	－	161,113	194,660	b	リース負債
資産除去債務	23,466	－	－	23,466		引当金
繰延税金負債	22,604	－	－	22,604		繰延税金負債
その他	8,517	－	－	8,517		その他の非流動負債
固定負債合計	871,445	－	161,113	1,032,559		非流動負債合計
負債合計	1,343,205	－	230,719	1,573,924		負債合計
純資産の部						資本
資本金	652,354	－	－	652,354		資本金
資本剰余金	642,454	－	△1,715	640,738	e	資本剰余金
利益剰余金	△298,104	－	△103,139	△401,244	a, b, c, e, f	利益剰余金
自己株式	△155	－	－	△155		自己株式
	996,548	－	△104,855	891,692		親会社の所有者に帰属する持分合計
純資産合計	996,548	－	△104,855	891,692		資本合計
負債純資産合計	2,339,753	－	125,863	2,465,617		負債及び資本合計

③　前連結会計年度（2019年９月30日）の資本に対する調整

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	993,599	－	－	993,599		現金及び現金同等物
売掛金	272,853	19,812	－	292,666		営業債権及びその他の債権
仕掛品	408	－	－	408		棚卸資産
前払費用	32,525	△32,525	－	－		
その他	24,825	△24,825	－	－		
貸倒引当金	△2,585	2,585	－	－		
	－	34,952	△4,049	30,903	b	その他の流動資産
流動資産合計	1,321,626	－	△4,049	1,317,577		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	95,956	△51,248	5,504	50,212	b	有形固定資産
	－	51,248	168,559	219,808	b	使用権資産
	－	366,974	△38,767	328,206	a	のれん
無形固定資産	583,260	△366,974	15,028	231,314	f	無形資産
投資その他の資産	200,254	△1,362	△14,280	184,612	f	その他の金融資産
	－	1,362	5,670	7,032	g	繰延税金資産
固定資産合計	879,472	－	141,714	1,021,186		非流動資産合計
資産合計	2,201,099	－	137,664	2,338,764		資産合計

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
						負債及び資本
負債の部						負債
流動負債						流動負債
買掛金	126,672	35,997	－	162,670		営業債務及びその他の債務
	－	12,508	－	12,508		契約負債
１年以内返済予定の長期借入金	186,592	－	－	186,592		有利子負債
リース債務	7,225	－	49,772	56,998	b	リース負債
未払金	36,972	△36,972	－	－		
未払費用	14,834	△14,834	－	－		
未払法人税等	9,824	－	△8,103	1,721	g	未払法人所得税等
前受金	12,508	△12,508	－	－		
賞与引当金	31,948	△31,948	－	－		
その他	28,782	47,757	30,039	106,579	b, c, g	その他の流動負債
流動負債合計	455,360	－	71,709	527,069		流動負債合計
固定負債						非流動負債
長期借入金	637,666	－	－	637,666		有利子負債
リース債務	26,684	－	121,995	148,679	b	リース負債
資産除去債務	23,498	－	－	23,498		引当金
繰延税金負債	18,269	－	3,368	21,637		繰延税金負債
固定負債合計	706,118	－	125,363	831,482		非流動負債合計
負債合計	1,161,479	－	197,072	1,358,551		負債合計
純資産の部						資本
資本金	664,174	－	－	664,174		資本金
資本剰余金	654,274	－	△1,715	652,558	e	資本剰余金
利益剰余金	△278,196	－	△57,691	△335,888	a, b, c, e, f	利益剰余金
自己株式	△192	－	－	△192		自己株式
その他の包括利益累計額	△438	－	－	△438		その他の資本の構成要素
	1,039,620	－	△59,407	980,213		親会社の所有者に帰属する持分合計
純資産合計	1,039,620	－	△59,407	980,213		資本合計
負債純資産合計	2,201,099	－	137,664	2,338,764		負債及び資本合計

④　前第１四半期連結累計期間（自　2018年10月１日　至2018年12月31日）の包括利益に対する調整

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
売上高	543,169	－	－	543,169		売上収益
売上原価	342,324	－	－	342,324		売上原価
売上総利益	200,845	－	－	200,845		売上総利益
販売費及び一般管理費	185,507	－	△12,464	173,043	a, b, c, g	販売費及び一般管理費
	－	4,284	1,292	5,577	d	その他の収益
	－	384	952	1,336	d, f	その他の費用
営業利益	15,337	3,900	12,804	32,041		営業利益
営業外収益	4,501	△4,501	－	－		
営業外費用	3,298	△3,298	－	－		
	－	217	－	217		金融収益
	－	2,914	406	3,320	b	金融費用
税金等調整前四半期純利益	16,539	－	12,398	28,937		税引前四半期利益
法人税等合計	17,890	－	△927	16,963	g	法人所得税費用
四半期純利益	△1,351	－	13,325	11,974		四半期利益
四半期包括利益	△1,351	－	13,325	11,974		四半期包括利益

⑤　前連結会計年度（自　2018年10月１日　至2019年９月30日）の包括利益に対する調整

（単位：千円）

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
売上高	2,159,940	－	－	2,159,940		売上収益
売上原価	1,362,594	－	－	1,362,594		売上原価
売上総利益	797,345	－	－	797,345		売上総利益
販売費及び一般管理費	731,014	－	△49,062	681,951	a, b, c, g	販売費及び一般管理費
	－	5,470	13,455	18,926	a, d	その他の収益
	－	11,273	2,708	13,981	d, f	その他の費用
営業利益	66,331	△5,802	59,810	120,338		営業利益
営業外収益	5,581	△5,581	－	－		
営業外費用	10,744	△10,744	－	－		
特別損失	8,614	△8,614	－	－		
	－	110	－	110		金融収益
	－	8,085	1,488	9,574	b	金融費用
税金等調整前当期純利益	52,553	－	58,321	110,874		税引前当期利益
法人税等合計	34,018	－	△451	33,566	g	法人所得税費用
当期純利益	18,534	－	58,773	77,308		当期利益
その他の包括利益						その他の包括利益
						純損益に振り替えられることのない項目
その他有価証券評価差額金	△438	－	－	△438		その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品
その他の包括利益合計	△438	－	－	△438		その他の包括利益合計
包括利益	18,096	－	58,773	76,870		当期包括利益

⑥　調整に関する注記

主に以下の調整及び関連する税効果の計上を行っております。

a のれん

日本基準ではのれんを一定期間にわたり償却しておりましたが、IFRSでは償却を行わないため、日本基準で移行日以降に計上したのれん償却額を戻し入れております。

日本基準ではのれんの修正としていた条件付対価の一部について、IFRSでは収益として計上しております。

移行日時点でIFRSに基づきのれんの回収可能性を評価した結果、新たに減損損失を計上しております。

b リース

日本基準では賃貸借処理していたリース取引の一部について、IFRSでは使用権資産及びリース負債を計上しております。

c 有給休暇

日本基準では認識していなかった未消化の有給休暇について、IFRSでは負債を計上しております。

d 総額表示

日本基準では営業外収益に純額で表示していた項目の一部について、IFRSではその他の収益及びその他の費用に総額で表示しております。

e 資本取引

日本基準では費用としていた資本取引の付随コストについて、IFRSでは資本から控除しております。

f 無形資産

日本基準では金融商品としていた資産の一部について、IFRSでは無形資産として表示しております。

g 法人所得税

日本基準では法人税、住民税及び事業税に表示していた項目の一部について、IFRSでは販売費及び一般管理費として表示しております。また、日本基準では未払法人税等に表示していた項目の一部について、IFRSではその他の流動負債として表示しております。

h 表示組替

IFRSの規定に準拠するために主に以下の表示組替を行っております。

・日本基準において、「営業外収益」、「営業外費用」、「特別損失」に表示していた項目について、IFRSでは主に財務関連項目を「金融収益」又は「金融費用」として、それ以外の項目については、「その他の収益」又は「その他の費用」として表示しております。
・日本基準において区分掲記していた「貸倒引当金」及び流動資産の「その他」に含めていた未収入金は、IFRSでは「営業債権及びその他の債権」として表示しております。
・日本基準において「有形固定資産」として表示していた項目の一部について、IFRSでは「使用権資産」として表示しております。
・日本基準において区分掲記していた「前受金」は、IFRSでは「契約負債」として表示しております。
・日本基準において区分掲記していた「買掛金」、「未払金」は、IFRSでは「営業債務及びその他の債務」として表示しております。
・日本基準において区分掲記していた「受注損失引当金」及び流動負債の「資産除去債務」は、IFRSでは流動負債の「引当金」として表示しております。

⑦　利益剰余金に対する調整

	移行日 （2018年10月１日）	前第１四半期連結会計期間 （2018年12月31日）	前連結会計年度 （2019年９月30日）
a のれん	△109,977	△97,168	△48,740
b リース	△400	△572	△952
c 有給休暇	△17,275	△17,275	△18,268
e 資本取引	1,715	1,715	1,715
f 無形資産	－	340	747
その他	9,450	9,821	7,806
合計	△116,487	△103,139	△57,691

⑧　前第１四半期連結累計期間（自　2018年10月１日　至　2018年12月31日）及び前連結会計年度（自　2018年10月１日　至　2019年９月30日）のキャッシュ・フローに対する調整

日本基準ではファイナンス・リース取引を除くリース料の支払いを、営業活動によるキャッシュ・フローに区分しておりましたが、IFRSではリース負債の返済として財務活動によるキャッシュ・フローに区分しております。